

CATALOGACIÓN: Fûkeiga. Paisajes, nº16

Signatura: J-D 4-2

Nombre del artista: UTAGAWA HIROSHIGE III

Título: Dai Nippon bussan zukai (Productos de Japón)

Firma: Hiroshige hitsu

Fecha (en calendario occidental y japonés): 1877. Meiji 11

Censor: Gahô Andô Tokubai kô

Formato: Orihon

大日本物産圖會全



大日本物産圖會

安藝國嚴島揚枝の櫻圖

藥州嚴島明神は日本三景のち
ふくむ社の創建景色目を
敬尊子輩中大願堂八國白秀吉公
の創建にして樹せ因縁十間五尺
合椽幅八尺四方らんや甘う
似千五疊敷とわ前海面と望
も尤も絶景なり堂中に蔭入
揚枝の柳をてつろり五色の色
とそめていろろのさ美うし
島中の名産とて又数子の
散鹿群遊してよく人ふま
人ふ七ふく餅や食す



大日本物産圖會

蟹貝中の等はして人習に
 ろんとも遊養の物より海中
 自然不生すものほして大者
 ろのり岩の如く集合して
 一二大ふ及ん茲及び不畜養す
 るものい小なりとまもるの味ひ
 美なり干潮のとき砂よみ竹木
 ろて堰をうけて潮のきこる世
 にちひさし延のつたなると
 とうりおのりひすのりもの砂
 中不畜養三年目にし
 て取出し食用にそまふ

同廣島牡蠣古畜養之圖



画 大鑑町四巻地 安藤徳兵衛

天日本物産圖會



周防國香草製之圖

香草ハ桐樹の朽す材より自
 然ニ生ずるとも世に拾ふるに
 ねり成故平ノエにて成する
 りり跡一則ハ桐樹脚端ニ生ず
 の材を切り芥を以て傷をうり
 拾ふるに三葉而全才の朽腐
 と除き林中より列へ建架あり
 時に春を以てて香草を採
 生ず是を収て糞材を水に
 浸し取出し木槌を以て打
 く再列を以て日をたして草を生

大日本物産圖會

石耳ハ岩上の濕氣あり
所ニ自然に生ずるもの
にして皆山上の峻所ニ生
ず形木耳より似て甚多し
さく松の葉の如し黒色に
て葉は長しと採るは梅と
くハ縄ますたり或ハ香にあり
木の枝より釣下り其老さ
と依の木つふ如くあり

同國岩蕈採之圖



大鑑町四巻見 守藤徳兵工

山人是採蓮下草安是 大倉徳兵

大日本物産圖會

八名郡名倉石の地より
 切出た故の名倉石の名
 所り山中砥石の苗と違
 深く挿入四角み長く切
 出して四本づ馬こ付
 て里よりな青白砥石
 と異り薄く理あり
 て主質滑り刀剣料
 刀等にも用ひ入合砥石也

三河國名倉石切出圖



大日本物産圖會

同國漆取之圖

漆樹ハ雌雄ノ二種あり
雌木ハ実ヲ結ビ蠟ト取テ
雄木ハ実ハ結ビ漆ト取テ
時侯ハ半夏生ヨリ初
十月ニ終リテ取法樹ヲ
段々傷メ付口ヨリ流ラシ
夜ニ鉄ノ筒ヲ挿テ漆ヲ
付ラ竹ツメ筒ト名枝ト切テ
水ニ浸シ傷ヲ付テ液ヲ擽トス



大日本物産圖會

鯉、外海の諸國ニ採り
ども土又と出すと名産とい
魚と稱する網ハ稀ナリ
釣多ク、其時と撰むると
とるニ四月ごろと初鯉と
く春節の二品とい生いさ
飼として一鯉は十二人のハ九
尺のハ廿ふ巻のハ六尺
計るハ先ツ生の世と感し
水ニ放ていふとをふつさ
集まる其中ハ針ハ世の尾と
はして投入とハ怒ち食つて
御業のひふさ、引上る

土佐國鯉釣之圖



大日本物産圖會

お魚多く集るは、鯉の
 節の骨等こそ、此の
 と、釣るは、と、行くと、云々
 フ、釣る魚と、滑り、上、
 り、上、ケ、先、頭、と、削、
 筋、と、ぬ、骨、と、除、き、二、枚、
 あ、ろ、う、と、又、ニ、ツ、ム、切、
 四、尺、と、ろ、一、筋、こ、う、と、
 我、を、も、ろ、ろ、大、谷、の、
 滑、こ、わ、と、笑、の、子、あ、ま、
 べ、三、十、日、ち、ど、ろ、と、あ、ま、
 ん、ひ、と、標、め、つ、め、諸、方、
 疾、出、す、ま、り、

同經節と製ス圖



画工 大鋸町の番地 安藤徳兵衛

出處 大日本物産圖會 大倉蔵

大日本物産圖會

卷ハ本邦諸國の製法とと生
 も富國最多一といハ種子
 分揃よく面一様はして生気強
 く卵の中少一四ミ粒の地合
 りく多多く成のともうき種
 子のちじじよくあつた卵
 ちり取りあつた卵落きると
 最上といハ第一其年上の末
 と喰せし作の垂るとし種
 も極上といハ随分種元を吟
 味しと上種と求むべし

常陸國養蠶之圖



大日本物産圖會

鯉ハ上州武州利根川多ク
 流中常國の川々ニ流す
 るりの佳味といひ網と川
 中ニ張ちたり 漁者水中
 ニ入鯉を捉さしつぐらふ
 水がらまを浮あがり 傍に
 へ収め或ハ舟中へ抛あがる
 水中鯉をかくらふと云リ
 のましく鯉の目をおとす
 が抛あがる水ちるまの摩
 大ニ手練ありと云ふ

常州 鯉ヲ抛取ル圖



大日本物産圖會
 卷之八
 魚類
 鯉

大日本物産圖會
 卷之八
 魚類
 鯉

大日本物産圖會

柿の實國地々あり産は菊
 木は一々其實大なる四月
 頃花開き九月の以実熟
 ナラモと摘皮と剥きとをの
 蒂とのこし繩みとさし
 く教條にのり乾ききく
 後画の中ふ列へ蓋と抱
 ひ久しきと堅く白霜と
 生ず則ち白柿と稱はれ
 甘くて甚佳なり

甲斐國白柿製之圖



大日本
 物産圖會
 甲斐國
 白柿製之圖

大日本物産圖會

甲斐國葡萄培養圖

葡萄の山梨郡岩崎村
小産するも殊に好む
變草にて春花と開き
秋実と結ば垂下とし藤
花の如く熟するに至ると
雅客相下ふあつ多う玉
と加むむけ共席空まほ
る葡萄と譽れ求らるる
か色む又近年をいふ
酒乾七の月の零れをいふ



比羅人早稲通る百子多産地大倉孫共獲

大日本物産圖會

白^{しら}國^{くに}金^{かね}と發^{はつ}見^{けん}せし^りの
人^{ひと}皇^み四^よ十六^{じゅうろく}代^{だい}孝^{かう}德^{とく}天^{あま}白^{しろ}玉^{たま}の
御^み守^{まも}り^の始^{はじ}め^りと陸^{りく}奥^{おく}國^{くに}う^らう^の歌^{うた}
約^{やく}十^{じゅう}二^に三^{さん}蓋^{さい}一^{いつ}宮^{みや}國^{くに}と
諸^{しよ}郡^{ぐん}より出^い立^{だつ}せし^りと
就^す中^{ちゆう}雜^{ざつ}太^{たい}郡^{ぐん}相^{さう}見^{けん}川^{がわ}
金^{かね}北^{きた}山^{さん}う^ら振^{ふる}世^よに^も最^{さい}も^も夥^{おほ}し
共^{とも}出^い立^{だつ}年^{ねん}々^々五^ご十^{じゅう}と^も目^め分^{ぶん}し至^{いた}
り実^{じつ}に^も益^{えき}ありと海^{うみ}内^{うち}第^{だい}一^{いつ}也^{なり}

佐渡國金山之圖



水抜口

金山

相見川

大日本物産圖會

佐渡金堀之圖

金オウゴン砂サ金キン石シ金キン其ソノ外ソノ數スベテ種シユ
 あり砂サ金キン山ヤマ谷ヤ王オウ砂サの中ナカに
 生ナマを又マタ瓜ウリ子コ金キン雙フタ金キンとト多シ
 けり精セイ煉レンしと煎ケン金キンと
 あり石イシ金キンハ岩イハ石シの間マダ
 に混マシ合ヘして方カタ言コト言ハシひ
 ラマセと云イハふ人ヒト夫ソノ礦クワン中ナカ
 の金オウゴン脈マキとつツまて堀ウチ捕ツ
 らるルる

山王砂

水堀



通大日本物産圖會 佐渡金堀之圖

大日本物産圖會

荒布ハ其形シ昆布ニ似テ
薄ク柔ムシク黒色ナリ
當國鳥羽ノ海底ニ他野々
小生沢土人鑿リ以テ海底ニ
沉セ岩小付テ荒布乃
根ニ刈テ淨シアルメ浪
為ニ自然ニ陸地ニウチ
あげタルヲ取マツル乾
シテ諸方ニウチ



大日本切立園會

當國鳥羽ニ産する砂ハ
 色數種あり青黄赤白
 その他數色トモナリ故ニ此
 砂ト以テ金石金銀トナリ
 切立園ノ盆中ニ
 國々名所花鳥山水好
 如く色砂を以テ秋
 床の間に至物類而
 紙上ノ砂を以テ掛物トナリ

同國五色砂ハ盆石飾



J-D
4-2

J-D
4-2

